

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 6 月 16 日 (2011.6.16)

【公開番号】特開 2008-301482 (P2008-301482A)

【公開日】平成 20 年 12 月 11 日 (2008.12.11)

【年通号数】公開・登録公報 2008-049

【出願番号】特願 2008-119961 (P2008-119961)

【国際特許分類】

H 0 3 B 19/00 (2006.01)

H 0 4 B 15/00 (2006.01)

G 0 6 F 1/04 (2006.01)

【F I】

H 0 3 B 19/00

H 0 4 B 15/00

G 0 6 F 1/04 3 0 1 B

G 0 6 F 1/04 A

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 4 月 27 日 (2011.4.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の処理の実行に用いられる、所定の周波数のクロック信号を出力する出力手段と；
上記出力手段によって出力されるクロック信号の周波数と、当該クロック信号の変調の
ための変調方法とを決定する決定手段と；

無線機器と無線通信を行うための無線通信手段と；

所定の機能を実行する実行手段と；

を有し、

上記決定手段は、上記無線通信手段による無線通信と、上記実行手段による上記所定の
機能とのそれぞれの動作状態に基づいて、上記クロック信号の周波数と上記変調方法とを
決定することを特徴とする電子機器。

【請求項 2】

請求項 1 において、

上記変調方法は、クロック信号を変調するときの変調率と変調モードとの少なくとも 1
つを含むことを特徴とする電子機器。

【請求項 3】

請求項 2 において、

上記変調モードは、上記決定手段により決定された周波数に対して高い周波数帯域へ拡
散させるモードと、上記決定手段により決定された当該周波数に対して低い周波数帯域へ
拡散させるモードとを少なくとも含むことを特徴とする電子機器。

【請求項 4】

請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項において、

上記無線通信手段は、無線機器と無線通信するための無線ユニットであって、無線通信
のために使用する周波数帯の異なる複数の無線ユニットにより無線通信を行い、

上記決定手段は、上記複数の無線ユニットのそれぞれによる無線通信が実行されるかに

基づいて、上記クロック信号の周波数と上記変調方法とを決定することを特徴とする電子機器。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項において、

上記決定手段は、上記無線通信手段により無線通信が実行されるときに、当該所定の機能が実行されないときとは異なる周波数を決定することを特徴とする電子機器。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項において、

上記決定手段は、上記実行手段による上記所定の機能が実行されるときに、当該所定の機能が実行されないときとは異なる変調方法を決定することを特徴とする電子機器。

【請求項 7】

請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項において、

上記所定の機能は、画像通信を行うファクシミリ機能と、記録媒体に画像を記録させる記録機能との少なくとも 1 つを含むことを特徴とする電子機器。

【請求項 8】

所定の処理の実行に用いられる、所定の周波数のクロック信号を出力する出力工程と；

上記出力工程で出力されるクロック信号の周波数と、当該クロック信号の変調のための変調方法とを決定する決定工程と；

無線機器と無線通信を行う無線通信工程と；

所定の機能を実行する実行工程と；

を有し、

上記決定工程は、上記無線通信工程における無線通信と、上記実行工程における上記所定の機能とのそれぞれの動作状態に基づいて、上記クロック信号の周波数と上記変調方法とを決定することを特徴とする電子機器の制御方法。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】電子機器、電子機器の制御方法、およびプログラム

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、所定の処理の実行に用いられるクロック信号を出力する電子機器、電子機器の制御方法、およびプログラムに関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明は、電子機器の機能の動作状態に基づいて、所定の処理の実行に用いられるクロック信号を適切に出力することができる電子機器、電子機器の制御方法、およびプログラ

△を提供することを目的とする。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

本発明の電子機器は、所定の処理の実行に用いられる、所定の周波数のクロック信号を出力する出力手段と、上記出力手段によって出力されるクロック信号の周波数と、当該クロック信号の変調のための変調方法とを決定する決定手段と、無線機器と無線通信を行うための無線通信手段と、所定の機能を実行する実行手段とを有し、上記決定手段は、上記無線通信手段による無線通信と、上記実行手段による上記所定の機能とのそれぞれの動作状態に基づいて、上記クロック信号の周波数と上記変調方法とを決定することを特徴とする。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

本発明により、電子機器の機能の動作状態に基づいて、所定の処理の実行に用いられるクロック信号を適切に出力することができる。